

KEISUKE TOYAMA

外山啓介

Piano Recital

ピアノ・リサイタル

「月光&謝肉祭」

《東京公演》

2018年9月1日(土)14:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

主催: インタースペース

協力: エイベックス・クラシックス・インターナショナル

《札幌公演》

2018年9月6日(木)19:00開演

札幌コンサートホールKitara大ホール

主催: オフィス・ワン

特別協力: TVhテレビ北海道

協力: エイベックス・クラシックス・インターナショナル

《大阪公演》

2018年9月8日(土)14:00開演

ザ・シンフォニーホール

主催: ABCテレビ

協力: エイベックス・クラシックス・インターナショナル

ザ・シンフォニーホール



©Yuji Hori

Program

ドビュッシー

月の光が降りそぐテラス (プレリュード第2集より)

ベルガマスク組曲 「プレリュード」「メヌエット」「月の光」「バスピエ」
喜びの島

ペートーヴェン

ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

ショパン

プレリュード第15番 変ニ長調 op.28-15 「雨だれ」

ノクターン第8番 変ニ長調 op.27-2

シューマン

謝肉祭～4つの音符による面白い情景～ op.9

前口上/ピエロ/道化役者/高貴なワルツ/オイセビウス/フロレスタン/

浮気女/返事/蝶々/踊る文字/キアリーナ/ショパン/エストレラ/再会/

パンタロンとコロンビース/ドイツ風ワルツ(間奏曲バガニーニ)/

告白/散歩/休息/ベリンチー人と戦うダヴィッド同盟の行進

Program Notes

ドビュッシー

●月の光が降りそぐテラス

(プレリュード第2集より)

ドビュッシー(1862～1918)は、1909年から1913年にかけて、各12曲からなる2つのプレリュード集(前奏曲集)を作曲しました。各曲には、そのイメージの源となったタイトルが、曲尾の余白に小さく()付で添えられています。第2集の第7曲は(…月の光が降りそぐテラス)と記されています。精妙な和音の響きはドビュッシーならではのもの。月の光に照らされたインドの王宮の麗見のテラスから曲想のヒントを得たと伝えられています。

ドビュッシー

●ベルガマスク組曲

「プレリュード」「メヌエット」「月の光」「バスピエ」

「ベルガマスク組曲」は1890年頃に着手され、15年後の1905年に完成して出版されました。「ベルガマスク」というタイトルは、ドビュッシーがイタリア留学中に訪れた北イタリアの地方名や舞曲名に由来するとともに、ドビュッシーが愛読していたヴェルレーヌの詩集に出てくる「宮廷的な(ベルガマスク)」という意味をあわせもつと言われています。

第1曲「プレリュード」:モデラート、第2曲「メヌエット」:アンダンティーノ、第3曲「月の光」:アンダンテ・トレ・エクスピシフ、第4曲「バスピエ」:アレグレット・マ・ゾン・トロッポ、の4曲になります。

ドビュッシー

●喜びの島

ルーヴル美術館にあるワトー(ヴァトー)の絵画「シテール島への乗船(船出)」(もともとの題名は「シテール島の巡礼」)から受けた印象が作曲の契機になったと伝えられています。1904年に作曲され、翌年リカルド・ビニエスによって初演されました。シテール島とは、古代ギリシャの愛の女神ヴィーナスの住む島と伝えられ、ドビュッシーは愛を求めて島に集まる若い人たちの喜びを幻想豊かに描きだしています。曲は技巧的にかなり難しく、ピアノの華やかな技巧と多彩な技法がダイナミックに駆使されています。

「喜びの島」は、ドビュッシーが「ペルガマスク組曲」の中の1曲として作った、あるいは「ペルガマスク組曲」の続編を構想して作った1曲とも言われています。実は、1904年に「ペルガマスク組曲」としてフロモン社から出版される予定になっていたのはこの「喜びの島」、「仮面」ともう1曲を加えたほうでした。その後、出版社の事情により、「喜びの島」と「仮面」の2曲は、別個の小品として1904年8月にデュラン社から出版され、1905年6月に、ドビュッシーが初期の頃に作った4曲の小品が「ペルガマスク組曲」の曲名でまとめられて出版されました。

ベートーヴェン

●ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」

ベートーヴェン(1770~1827)が残した32曲のピアノ・ソナタのなかでも、1801年に書かれた第14番「月光」は、とりわけ広く親しまれています。「月光」というタイトルは、ドイツ・ロマン派の詩人ルートヴィヒ・レルシターブがこの曲の第1楽章を、「スイスのルツェルン湖に映る月光の波にたゆとう小舟のよう」と表現したことによ来すると言われています。ベートーヴェンのピアノの弟子の一人だった伯爵令嬢ジュリエッタ・グィッチャラディに献呈されました。

第1楽章:アダージョ・ソステヌート、第2楽章:アレグレット、第3楽章:プレスト・アジタート、の3つの楽章からなります。

ショパン

●プレリュード第15番 変ニ長調 op.28-15「雨だれ」

ショパン(1810~1849)の「24のプレリュード」op.28の第15番にあたります。1838年から翌年にかけて、結核の転地療養のために、恋人ジョルジュ・サンドとともに滞在していたマヨルカ島のバルマの僧院で書かれたもの。曲中を通して奏される変イ音(中间部は嬰ト音)の連打が、古い僧院の屋根に落ちる雨音を連想させます。

ショパン

●ノクターン第8番 変ニ長調 op.27-2

ノクターンop.27の2曲は、1834年から35年の作と考えられており、1836年に出版されて、ダッポーニイ伯爵夫人に献呈されました。第8番は、2つの楽想が交互に3回ずつ装飾的に変奏を重ねてゆきます。コーダの美しさも印象に残ります。

シューマン

●謝肉祭～4つの音符による面白い情景～ op.9

前口上/ピエロ/道化役者/高貴なワルツ/オイゼビウス/フロレスタン/浮気女/返事/

蝶々/踊る文字/キアリーナ/ショパン/エストラ/再会/パンタロンとコロンビース/

ドイツ風ワルツ(間奏曲バガニーニ)/告白/散歩/休息/ペリシテ人と戦うダヴィッド同盟の行進

シューマン(1810~1856)の個性がもっとも豊かに発揮された作品として知られる「謝肉祭」は、1834年から翌年にかけて作曲され、1837年に出版されました。当初シューマンは、最初の許婚者エルネスティーネ・フォン・フリッケンに捧げる予定でしたが、この恋は実らず、出版時はヴァイオリニストのカール・リビンスキイに献呈されています。

「前口上」の穏かしい和音による序奏に始まって、「ペリシテ人と戦うダヴィッド同盟の行進」と記された3拍子の不思議な行進曲まで全20の多彩な小曲からなり、そこにはピエロや道化役者、またコメディア・デラルテの役者が登場し、シューマン自身もフロレスタンとオイゼビウスという分身になって現れます。さらに音楽家の同志ショパンとバガニーニが加わり、かつての許婚者エルネスティーネがエストラに、そしてクララがキアリーナに名前を変え、仮装して、謝肉祭劇の舞台の上で出会い、ワルツを踊り、恋をささやきあいます。

サブタイトルは「4つの音符による面白い情景」と付けられ、曲はエルネスティーネの生まれ故郷の町の名アッシュ(A-Es-C-H)の綴りと、シューマンの名前の綴りと共に共通する文字を音名に当てはめた音群をドイツ語読みした(As-C-H)の4つの音符を基調として展開してゆきます。

Profile

外山啓介

Keisuke Toyama, piano

札幌市出身。2004年第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ドイツ(ハノーファー音楽演劇大学)留学を経て、11年東京藝術大学大学院を修了。18年第44回「日本ショパン協会賞」受賞。札幌大谷大学芸術学部音楽学科講師。洗足学園音楽大学非常勤講師。07年『CHOPIN: HEROIC』でCDデビュー、サンクトペテルブルクをはじめ各地で行われたデビュー・リサイタルが完売となる。その後現在までソロ名義で8枚のCDを発表し、09年『ラフマニノフ』と13年『展覧会の絵』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。14年映画『砂の器』のテーマ曲「宿命」を東京・大阪にて演奏(ライヴ録音CD発売)。16年のベルリン交響楽団日本ツアーにソリストとして参加。17年はデビュー10周年記念ツアーや約20か所で開催した。全国各地でのリサイタル・ツアーや毎年実施する主要オーケストラとの共演も多数あり、その繊細で色彩豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から高い評価を得ている。最新CDは17年発売の『マイ・フェイヴァリット』。

外山啓介オフィシャルサイト <http://www.keisuke-toyama.com>

PIANO
外山啓介
KEISUKE TOYAMA

好評発売中



BEST

英雄ホロネーズ(ボロネーズ第6番変イ長調 作品63) / ショパン
バラード第1番ト短調 作品23(ショパン) / ドヴォルザーク
作曲60(ショパン) / 子守歌 変ニ長調 作品57(ショパン) /
ジムノベディ 第1番、第3番(サティ) / 夜想曲 第2番ト長調
(ドビュッシー) / 月の光(ドビュッシー) / 亞麻色の髪の乙女(ドビュッシー) / 死亡のためのババーヌ(ラヴェル) / バガニアニの主題による狂詩曲 第18変奏(ラフマニノフ) / 前奏曲
変ホ短調(練習曲) 作品3の2(ラフマニノフ) / 練習曲「音の絵」
変ホ短調 作品39の5、ニ長調 作品39の9(ラフマニノフ)
[録音] 2006年~2010年
CD AVCL-25735 定価: ¥3,086(税込)



マイ・フェイヴァリット

リスト: 愛の夢 第3番
シューマン/リスト: 献呈
リスト: コンソレーション 第3番
ワーグナー/リスト: インルアの愛の死
リスト: バラード 第2番 ロ短調
ドビュッシー: ロマンティックなワルツ
ドビュッシー: 薔薇の島
ラヴェル: ラ・ヴァルス
[録音] 2016年12月
CD AVCL-25938 定価: ¥3,000(本体価格)+税

a avex classics